

市 紋 章



銚子市の紋章は、旭日を中心に、丁四（銚子）を周囲に配して図案化したもので、市制施行の翌年、昭和9年に制定されました。

市 の 木 （昭和58年2月11日指定）



さざんか

ツバキ科の常緑小高木で日本の特産、四国・九州の温暖地には自生するが、多くは庭に植えられ、沢山の園芸品種があります。

木の高さは2～7メートル、花の色は白・淡紅・紅白の混合などで、咲き方も一重・八重があり、晩秋から初冬に美しい花を咲かせます。

市 の 花 （昭和58年2月11日指定）



おおまつよいぐさ（宵待草）

アメリカ原産の帰化植物として、各地に広く野生しており、夏の夕刻鮮やかな黄色の花が咲きます。

宵を待つて咲くことから宵待草の名があります。

市 の 魚 （平成15年2月11日指定）



いわし

銚子のいわしは、全国屈指の水揚げを誇ります。市制施行70周年を記念して一般公募した結果、最も応募が多く、小さくてもみんなで力を合わせて生きているというイメージから銚子のシンボルにふさわしい魚として指定されました。